

第7回区民版子ども子育て会議
(第三回 区民版子ども子育て楽(学)会 準備会)

2016年12月12日(月) 18:30-21:15

会場：成城ホール4F E会議室

参加者：23人

■テーマごと分かれてグループワーク 18:30~20:00

■各グループから発表

- (1) 若者チーム：2人(斎藤モナママ@プレーパークせたがや、森川@せたがや子どもワカオノネット) 12月5日に別途MTG実施済み

現状の抽出

現状はどうか?というアンケート作成中

中高生対象、児童館、プレーパークに行ったことない人に聞こう

行く理由、行かない理由

今週中にアンケート作成、学校にコネある人、100人~200人はとりたい

青少年委員に頼もうか?校長に口きける人とか・・・

19日~22日 実施予定 /1月21日締切で考えている

1月13日区民版の前にMTG予定

課題のはっきりある人への支援と予防との連携がとれてないのをどうするのか?

発表はコント?というアイデアもあった → 理想はコントでやろう

最終はパネルディスカッションかも。連携はどうしたらいいかをつなげいきたい

- (2) メディアチーム：8人 (やし@ビオキッズ、小池@野沢3丁目あそび場づくりの会、with kids@小野寺、伊藤裕二@世田谷区、加藤@成育医療研究センター、大野@こども劇場せたがや、池田@子ども育成推進課、あと一人?)

「子育て」のワードを使わず「子育て」を伝えようと考えたのが前回

アウトプット

人にささっていない?原点をふりかえって

対象者だけではない、無関心層の大衆層に「子育て」を伝えようとしたのではないか?

→ワークショップ開催 活動は戦略的にやっていない

→地域活動団体あるある

例として ★ペプシの戦略

- 団体の伝えたいメッセージを設定
どういう人たちに伝えるのが効果的か？
取り巻く人、特定の人だけにしてしまうだけで壁ができてしまうので、ターゲットを絞らずに大衆向けに
- とりまくリソース（商店街→皆が使っていて安心、信憑性がある / 町会、小学校、など）
- 当事者意識をもってもらうためには？という線をひいていく
- ワークショップをすると悩みを解決するきっかけになるのでは？
- メディアはどう使ったらいいのか？メディアの特性を解説してもらう
→分科会のまとめ(視点を変える)

Q. まとめは何をみて？（by 真鍋）

A. With kids が全体を把握して？

このメディアはどういう広報ができるのかまとめていく予定

(3) 医療チーム：7人（大久保@玉川レディースクリニック、三島@玉川病院、
明石、松田、小川@世田谷区切れ目のない支援担当 真鍋@世田谷区計画担当）

母と子のサポートネットを月に一度症例検討会を開催しているが、ここを地域と医療の場にも
っていけないかと話し合いした

ワークでどういう職種が医療と地域に関わっているのか挙げていった

→地域との接点がない

ネウボラがハブにしていろんな職種がつながっていくのがいいのではないかな？

今後議論していきたい

医療機関は 行政や地域がどういうことをやってくれるか知らない

医療—特定妊娠ガイドライン（メンタル）

区—妊娠中、幼児期チェックシート（フォーチャート）

(4) 多文化共生チーム：4人（稲田@世田谷区国際課、矢島@野沢3丁目あそび場づくりの

会（てっとー）、小林@せたがや子育てネット、林イーチェ@ヒッポファミリークラブ三茶、真鍋@東大、） リーダー：イクリス吉田さん不在

多文化共生の定義ができてないのでは？ということから体験ワークをした（文字の読めない村の子どもが3つの瓶から正しい薬を選べるのか、読めない文字での求人広告）

今の世田谷区の現状は外国籍の人が、18200人に超えた、毎月40人増えている
その人が、日本文化の中に入ったときにどうなるのか？ 悩みは何なのか？

<当日の流れ>

世田谷区のデータ紹介（国際課）

クイズ体験（文字の読めない子どもが、どの瓶をえらんだらいいか？）

ちょっとした事例紹介も含む

意見交換（グループタイム）

まとめ：世田谷区における多文化共生ってなに？

ユニバーサルデザイン

方言も多文化

・クイズ →わからないってどういうことか体感してもらおう（3つの瓶）

=====

20:00-〈全体の話し合い〉

■スケジュール

午前中にメッセのふりかえりがある。10時から11時半ごろまで予定
基調講演してから昼休み 昼休み中もポスター展示と説明はあり
ワールドカフェの後にアジェンダの発表

■基調講演 「人とのつながりをどうつくっていくのか」が共通テーマ？

1) 基調講演はどのような人にしてもらいたいのか？

- ・木下いさみ先生@千葉大 子どもの参画
- ・NHK SPの「ママたちは緊急事態」に出ていた先生？
- ・去年は渥美さん@東レ企業コンサル パパも地域や子育てに関わろうという話
- ・日本大学 岡さんの家の先生？
- ・昭和女子大 アイリスの先生？
→話が面白い人、パフォーマンスの高い先生がいいかも。
- ・福井大の先生 10年後の子どもと親の愛着形成がかわってくるのではないかな？

- ・青木先生@早稲田大学 愛着の専門だが、楽しく話せるかというより刺さる系？
- ・菅原ますみ先生@「お母さん頑張っ」ではなく地域で応援してくれると言ってくれる
- ・ふじかわだいすけ先生@千葉大 メディアリテラシー 世田谷でも活動していたかも
- ・萩原先生@駒澤大学 道遊びの時に動画を見せてもらった→若者が力を発揮する
- ・さいとうたまき先生@筑波大 オープンダイアログ 世田谷区長が好き？
- ・コミュニティカフェの人：福祉ジャーナリスト 元日経の記者
- ・武田信子先生@武蔵大学
- ・茂木健一郎先生は？
- ・海馬の人 お父さんになった人??
- 思いついたら連絡を・・・

■その他 意見

お母さんたちがバギーをおしていながら親子ともに携帯をみている状況に、なんでこどもが泣いているのか愛着形成ができないのでは、と気になっている

→子どもはあきらめてしまっていないか？

■予算

せたがや子育てネットの寄付金から捻出する感じなので高い謝礼は出せない
資料代として参加者から500円

■ポスター展示（ポスターセッションからポスター展示に名称変更）

出展団体はパネルにポスターを貼って活動紹介する（ポスターセッションとは言わない）

→ 大きさ：模造紙1枚

1つのパネルに1団体 説明や質問を求められたら応えられるようにしてもらう

チラシを置ける台は用意する

公募：10～20団体

■提出物

☞ 暖かい味づき

- 参加団体プロフィール提出（A4縦 半分のスペースに入るように）【締切1月13日】

（リソグラフで印刷するため、写真は不明瞭になることをご了承ください）

- ① グループ名
- ② 代表者名（または連絡担当者名）
- ③ 所在地（または主な活動場所）
- ④ TEL
- ⑤ E-mail

⑥ 活動内容（こんなことやっています）

■発表グループ提出

●分科会テーマ発表内容（A4）縦 【締め切り 1月 23日】

2枚(見開き)のスペースに入るように【余白上部 40mm開けてください】

- ①分科会テーマ
- ②発表団体名
- ③発表内容

■他の団体やグループも呼びかけしてほしい

→HPで公募&知っている団体にメール

区の今やっている事業などもだしてもらうのがいいのではないか

→ネウボラ、バイオキッズとか・・・

■質疑応答

◎チームでワークショップとかする時の備品（模造紙、マーカーなどは？）

→事務局で用意するので、事前に言ってほしい

★次回の準備会：1月13日までに用意するものなどは決めてください

◎会場の配置

→エリアはわけて実施 会場：大きな机 / 組み合わせる変形机が少し

◎ステージ

→低いステージは作れる 若者：コントを実施するときに利用？

◎下見に関して

→調整中

【次回の集まりは1月13日（金）成城ホール 集会室AB 18：30ー】